

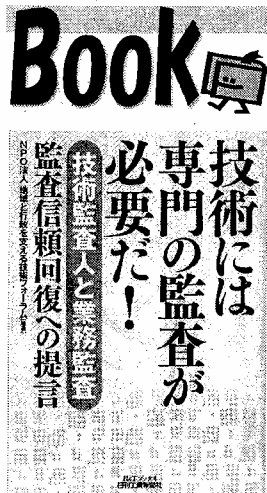
# 技術には専門の監査が必要だ！

法政大学地域と行政を支える技術フォーラム編著  
日刊工業新聞社刊

日刊工業新聞社刊

昔、都民率という組織 編著者「技術フォーラム」のように左から右へシグ  
 があった。日照紛争や土 の理事長である原田敬美 ザグに白墨を走らせた。  
 壌汚染、幹線道路公害か さんと出会った。ある公 見落としていた、避け  
 ら都営住宅の建て替え問 害問題で相談したら、彼 ていた関係者も含め相関  
 題など、様々な相談と利 害問題で相談したら、彼 図が明確になり、同じテ  
 害関係者間の調整に日夜 引き、真ん中の線の左か ーブルで、情報を共有し  
 首までつかっていた。持 ら右を解決に向かっていた話し合いができるよう  
 ち込まれる事件案のほど 時間軸とし、下の何本か になった。本書を一読し  
 んどは民事。どんなに被 の線を国や都、区市等の て、なぜか、あの時代を  
 害が広範囲に及ぼうとも 関係機関、上の何本かを 瞬時に思い出した。  
 「民事不介入」の原則が 被害者、加害者、施主・ 技術監査を論じている  
 優位だった時代、利害関 設計者・施工者あるいは が、細い排水管に雨水を  
 係者が話し合う場すらな 自称利害関係者等々と 合流させたら溢れて道路 直しが始まりつつある  
 かった。 し、我々の折衝のプロセ 今、膨大な税の無駄使い

そんなある日、本書の スを上下に折れ線グラフ



が冠水した事例、駐車場 の工事費が施工初期、予 測不可能の事態で当初見  
 積もりの1.5倍になっ た事例など、どれもこれ やすく、夢中で読んでし  
 も事前・事後の技術的・ 財務的なチェックがオー (社会福祉法人東京都知  
 プンになされていない結 果、どこでも起こりうる 果、どこでも起こりうる  
 高橋義人

ことばかりだ。

そして、誰が結果責任を負うのが明らかにならない、税金が適切に執行されていない等々が社会的問題にならない、今日の日本の姿が浮き彫りにされている。市民・納税者も含め真の利害関係者が関与できない。知らないうちに事柄が進み、決算書を監査委員が監査し、報告し、決算が承認される。以降、決算書は万が一にも表ざたになることはない。

しかし、政権が交代し公共工事全般について見直しが始まりつつある今、膨大な税の無駄使いの未然防止という観点から読めば、私のような技術音痴にも事例が分かりやすく、夢中で読んでしまった。

(社会福祉法人東京都知的障害者育成会副理事長 高橋義人)